

埼玉県生協連 12 月度まとめと今後の課題

2020 年 1 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 2019 年度組合員活動交流会

12 月 12 日(木)、2019 年度組合員活動交流会を市民会館うらわで開催し、4 生協 54 人が参加しました。NPO 法人ハンズオン！埼玉の西川正さんを講師に「楽しい会議のすすめ方」など、活動をすすめる上でのコミュニケーションスキルアップをはかることを目的とした研修と、日ごろの活動交流を行いました。※別紙 1

(2) 2019 年度第 3 回活動委員会

12 月 12 日(木)、第 3 回活動委員会を開催しました。話し合いでは同日に開催した組合員活動交流会のふりかえり、彩の国ドリームフェスタのふりかえりを中心に行いました。彩の国ドリームフェスタでは生協関係テナントを一体化させるクイズスタンプラリーは効果があったこと、また、次年度に向けては事前打合せの充実を確認しました。

(3) 2019 年度第 3 回常務理事会

12 月 26 日(木)、第 3 回常務理事会を開催しました。第 4 回理事会の議決事項の先議、理事会に付議する事項についての審議をおこないました。

(4) 2019 年度埼玉県協同組合間提携推進協議会代表者会

12 月 17 日(火)、JA 埼玉県中央会会議室にて 2019 年度埼玉県協同組合間提携推進協議会代表者会が行われました。代表者会では、各団体の取り組みについての報告が行われた後、意見交換と協同組合間連携の進め方についての意見交換を行いました。その中では、事務局会議を定期的開催することや、引き続き学習の場を持つことについて確認しました。

(5) 埼玉県議会会派との懇談

生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会全会派との懇談会を進めました。12 月には 4 会派と懇談を行い、30 人の県会議員が参加しました。懇談の中では、生協の電気事業や子どもの貧困対策の取り組み、スーパーの撤退により発生した都市部中高層団地の買い物難民の問題、消費者被害防止サポーターをはじめとする地域の見守り活動などについて意見交換を行いました。※別紙 2

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 埼玉県食品安全局との懇談 (1/30) のテーマは CSF (豚熱)、HACCP の取り組み、埼玉県食品衛生監視指導計画について、関東農政局との意見交換会 (3 月) はゲノム編集をテーマに調整しています。
- ② 埼玉県生協連と医療生協さいたま共催のヘルスチャレンジ 2019 がいったん 12 月で終了し、12 月末時点での参加者は 962 人となりました(1 月にかけて引き続き集約中)。次年度はヘルスチャレンジの期間だけでなく、フレイル予防や減塩の取り組みと関連づけて実施することも検討します。
- ③ 12 月 11 日(水)、消費者被害防止サポーター第 2 回フォローアップ研修・交流会を飯能市で開催し、地区別 7 会場の開催がすべて終了しました。全体の参加者は、フォローアップ研修に合計で 138 人、交流会には合計で 126 人の参加がありました。※別紙 3
- ④ 適格消費者団体の取り組み (差止および被害回復) では、現在 1 件の訴訟が継続中です。書面による差止請求 2 件 (累計 2 件)、申入れ 1 件 (5 件)、お問合せ対応は 4 件

(7件)、検討中10件でした。被害回復の取り組みは、申入れ0件(1件)、お問合せ1件(2件)、検討中3件でした。

差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第10回期日が、2020年2月5日(水)13時15分さいたま地裁で行われます。判決言い渡しになります。
------------	-----------	---

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41条書面)→訴訟

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 12月11日(水)、平和市民団体懇談会を開催して、第35回埼玉県原爆死没者慰霊式に関する話し合いなどを行いました。その中で、慰霊式を7月26日(日)に埼玉会館小ホールで行うこと、実行委員会結成を例年どおり3月に呼びかけて4月に結成することを確認しました。被爆75年に関わるイベントなどは、慰霊式との関連性も含めて、しらすぎ会で検討をすることになりました。
- ② 12月3日(火)、平和のための埼玉の戦争展の次年度に向けての話し合いが行われ、次年度の開催日程や内容についての話し合いを行いました。その中で、2020年の戦争展の開催日を7月22日(水)～24日(金)とすることを確認しました。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報1月号(新年号)、写真ニュース冬号を作成しました。
- ② 県連ホームページを改修し、本番アップしました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 12月26日(木)、日本生協連が全国の生協に呼びかけを行った「2019年台風19号被害緊急支援募金」から、埼玉県へ義援金として1,118万8,046円を寄付することになり、大野知事が参加して贈呈式が行われました。当日は、吉川会長理事より目録を贈呈しました。大野知事からは「被災地の復旧復興のために、大切にに使わせていただきます」とお礼のことばがありました。「2019年台風19号被害緊急支援募金」には全国156生協が参加し2億8,413万3,873円が集まりました。集まった金額は、被害状況にあわせて義援金として12都県に、支援金として4県5団体に配分される予定です。

(2) 埼玉消団連

- ① 12月19日(木)、埼玉消団連幹事会を開催しました。11月28日(木)に実施した埼玉県との懇談のふりかえり、県内消費者団体地区別研修会の分担、2020年度幹事会日程等確認しました。

(3) 諸団体

- ① 埼玉県協同組合間提携推進協議会の事務局会議を定期的に行うことについて、JA埼玉県中央会事務局と協議を行いました。次回の事務局会は1月10日(金)に行う予定です。4月～5月にかけて、協同組合や県内協同組織に向けた学習の場を設定できないか検討します。
- ② 12月11日(水)、さよなら原発埼玉県民集会実行委員会が開催され、県内団体交流会、県民集会に関するふりかえりと分担金、次年度の開催に関することを中心に話し合いを行いました。次年度は会場の確保を9月～12月で進めることになりました。

4. 今後の課題

- 2019年度まとめと2020年度方針について、県連内部で集中討議を行いました。討議を受けて、2019年度まとめ(1次案)と2020年度事業計画(1次案)を作成し、今後の機関会議で協議を進めます。

- 生協の社会的価値を発信するために、次年度に向けて、会員生協の様々な活動の数値や状況把握を行います。
- 情報 2 月号の制作準備、紙媒体から PDF 配信への移行準備を進めます。
- 県連ホームページでの会員ページ運用を 1 月中に開始できるよう準備します。
- 残り 2 会派との県議会会派懇談を行い、生協の認知度アップを図るとともに地域を豊かにするための意見交換を行います。
- 1 月 16 日 (木) に 2020 年新春賀詞交換会を開催します。そのための準備を進めます。
- 1 月 17 日 (金) 開催の助け合い活動交流会の準備を進めます。12 月末現在の参加者は、3 生協 33 人です。それぞれの助け合い活動の仕組みの理解を進めるための場とするために準備を進めています。更に多くの方の参加を呼びかけます。
- 1～2 月県内消費者団体地区別研修会の準備を進めます。海洋プラスチック問題を身近に感じられるように (一社) JEAN のワークショップなどを取り入れた内容で、貴重な機会です。県内の 4 つの会場 (1 月 20 日熊谷、1 月 28 日春日部、2 月 7 日上尾、2 月 10 日川越) で実施します。各生協での組合員組織メンバーへの案内を重ねてお願いします。
- 1 月 28 日 (火) に消費者被害の情報収集「110 番」を実施します。テーマは「あなたが経験した消費者『契約』トラブル、聞かせてください」です。組合員活動の場面などでの周知を引き続きお願いします。※別紙 4
- 3 月 2 日 (月) に消費者力アップ学習会 Vol. 3「高齢者施設の選び方」を開催します。今後、機関会議でご案内を行いますので参加の呼びかけをお願いします。※別紙 5